

施策評価シート（令和２年度実績）

施策名	22	良好な生活環境を保つ
-----	----	------------

		施策コード	030022
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	3 みんなでつくる 安全・安心で快適に暮らせるまち	
主管課	都市整備部	環境衛生課	
関係課	総務市民部	市民課、廃棄物対策課	

2. 施策の目標
10年後の目標
ごみがきちんと分別され、資源循環が図られるなど、環境にやさしい市民の生活習慣が定着している。 市民や企業の理解と協力のもと、良好かつ快適な生活環境が保たれている。 生活衛生に関する施設が適切に維持・管理されており、利用者のニーズに対応しながら安定的に運営されている。
10年後の目標に向かったの主な取組み
市の取組み
○ごみを出さない生活習慣が定着するよう、市民や事業者に啓発を図る。 ○不法投棄防止用監視カメラの増設、パトロールの強化に取り組む。 ○災害時の防疫業務の体制整備や災害廃棄物処理計画策定を行う。 ○工場や事業所からの環境汚染に対して、適切な指導や必要となる対策を強化する。 ○法規制に該当しない公害については、市民及び事業者への啓発活動を充実する。 ○斎場や市営墓地、衛生事業所など生活衛生施設は、広域連携も視野に入れながら適正な維持管理を行う。
市民・団体・事業所等の取組み
○資源の再利用と適正なごみ排出の知識を高め、ごみの減量化と分別に努める。 ○町会・自治会での町内清掃や環境保護活動、資源ごみの再資源化に取り組む。 ○生活排水による汚染や生活騒音による近隣への迷惑を可能な限り低減する。 ○事業所は積極的なごみの減量化と分別を図る。 ○事業所は地域コミュニティの一員として公害発生の抑止に努めるとともに清掃活動やアドプト・プログラム※に積極的に取り組む。 ※アドプト・プログラム：道路や河川、公園など市が管理する公共施設の一定区間を市民団体や企業が市に代わって担当し、清掃活動などを実施する事業。

3. 施策を取り巻く状況 社会環境や法令等の変化 大気汚染防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例の一部が改正され、石綿（アスベスト）飛散防止対策が強化されたことに伴い、作業基準の遵守等について適正な指導を行うこととなった。 新たな市民ニーズ 良好な生活環境が保たれるように、必要に応じた規制外の問題に対する対応が望まれている。 高齢化が進み、日常のごみ出し支援のニーズが増えてきている。

4. 施策にかかるコスト									
			単位	R元予算	R元決算	R2予算	R2決算	R3予算	
コスト の内訳	投入人員	正職員数	人		35.24		33.9		
		会計年度任用職員数			1.0		1.0		
	人件費	直接人件費	千円		224,230		210,108		
		間接人件費			17,959		17,881		
	直接事業費			689,581	617,067	677,670	624,469	644,448	
	間接事業費				328		1,084		
	フルコスト			689,581	859,584	677,670	853,542	644,448	
財源 内訳	使用料及び手数料			千円		123,318	123,475	126,982	123,122
	国庫支出金				0				
	府支出金				5,890	6	5,790	6	5,790
	市債				44,500	45,100	18,100	18,000	
	その他				793	3,459	682	3,121	689
	一般財源 1（＝フルコスト －特定財源）				515,080	687,544	526,116	709,293	507,213
	一般財源 2（＝直接事業費 －特定財源）				515,080	445,027	526,116	480,220	507,213
備考									

5. 施策の成果指標							
成果指標1		市民一人1日あたりの可燃ごみの収集量（不燃・粗大ごみ除く）					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
g	毎年度	487. 48	減少	496. 54	499. 34	488. 42	488. 25
成果指標2							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

し尿汲取り補助事業 (環境)	汲み取り延べ人口			17,465	16,647	26,709	26,446	成果	B：現状維持	下水道等の普及に伴う汲取り作業効率の悪化によりコストが上がるが、今後も市民負担の軽減を図る。
	R2実績	108,030	人	1,097	993	1,436		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								
衛生事業所施設運営事業 (環境)	年間搬入量			142,568	169,983	137,928	133,551	成果	B：現状維持	処理施設の広域連携や公共下水道の普及を勘案しながら、現在ある処理施設の機能維持を図り、適正な管理・運営に努めている。
	R2実績	30,365	kl	4,404	4,032	5,004		資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	－								

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	概ね達成。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
衛生事業所は、広域連携を視野に入れながら、必要最低限の改修等により施設の機能維持を図り、適正な管理・運営を行う。 斎場は、岸和田市との広域連携により新斎場の整備を行うので、現斎場については適切な管理・運営に努める。 ごみの減量化に向けた啓発活動を継続するとともに、ニーズが増加してきている高齢者等のごみ出し支援について、先行実施自治体の事例を参考にし研究していく。